

【事業所名】 養護老人ホーム万寿園 ・ 軽費老人ホーム第三万寿園

I 事業運営の基本方針

高齢者の生活を地域で支えるための地域包括ケアシステムの構築が推進されている。
「養護老人ホーム」「軽費老人ホーム」に求められているセーフティネット機能及び地域ニーズに的確に応え続けることができる施設としての役割と機能の維持向上に努める。

II 中期的目標

項目	内容
1. 事業を支える安定した経営	養護: 契約入所も積極的に受け入れ、収入面を補填しながら、措置入所者の確保のため、引き続き、措置機関との連携と信頼を構築していく。 軽費: 養護との合築である環境や職員配置を有効に活用し、入所希望待機者の状況を把握することで満床状態を維持していく。
2. 地域社会から信頼され貢献できる施設として	養護・軽費共通: (1) 関係機関と連携を図りながら、施設の役割・機能を地域の方々に周知し、地域住民のニーズに応えられる事業を展開していく。 (2) 公益性の高い社会福祉事業の担い手としての自覚を持ち、地域社会から信頼されるよう、法人の行動指針を守って行動する。
3. 養護老人ホーム万寿園の今後の在り方の検討	措置入所の減少と建物の老朽化も併せて、定員変更後の万寿園をどのように維持・継続していくのか、需要のある事業に転換するのかが等、検討していく。

III 年間計画(進行管理表)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
年間計画	利用者全体懇談会 利用者体力測定 研修: 事故防止①	菖蒲湯 研修: 身体拘束① 防災: IP活用訓練 虐待の芽 チェックリスト①	研修: 感染症対策① 防災: 安否確認 mail	七夕 年回忌法要 研修: 伝達研修 防災: 消火訓練	夏祭り 研修: 虐待防止① 防災: 夜勤者訓練	利用者全体懇談会 敬老祝賀会 彼岸法要(秋) 研修: 事故防止② ストレスチェック 防災: 総合防災訓練	研修: 認知症研修 防災: 停電想定訓練 第三者評価	運動会 研修: 身体拘束② 防災: 夜勤者訓練 虐待の芽 チェックリスト②	利用者全体懇談会 紅葉ドライブ ゆず湯 お餅つき大会 研修: 伝達研修 防災: 総合防災訓練	初詣 初釜 研修: 感染症対策② 防災: 夜勤者訓練	節分 コンプライアンス研修 防災: 安否確認 mail ひな祭り飾りつけ	お年寄りの作品展 出展・見学) 彼岸法要(春) お花見 研修: 虐待防止② 合同防災訓練 苦情解決第三者 委員会
	○利用者サービスへの取組(行事: 上記、年間計画 毎月: 意見箱の回収 3か月毎: 事故苦情防止委員会、虐待防止・身体拘束廃止委員会 随時: 食事サービス委員会 毎週: 支援計画更新・カンファレンス) ○職員への取組(※研修: 上記、年間計画、法人研修、外部研修、入職時研修、セキュリティ研修 ※面接: 自己申告書 毎月: 安全衛生委員会) ○地域社会への取組(学校等交流: 保育園・小学校・高校 夏休み: お昼ご飯お届け事業 ボランティアクラブ: 近隣清掃等) ○経営基盤強化への取組(毎月: 施設経営会議、職員会議 万寿園プロジェクトチームでの検討)											

IV 事業の計画

事業の課題	取り組む内容
1 利用者サービスへの取組	
(1) 人権尊重の徹底 利用者本人の意思を尊重しつつ、支援の内容と意義の理解を図りながら、現実的で可能な限り自立した生活が確保できるよう、質の高いケアを提供する。	① 利用者の意思を尊重し、各係連携のもと、適切なアセスメントとモニタリングにより課題を把握して、より具体的な対応を明確にした支援計画を策定し、職員間で情報を共有して認識の統一を徹底する。 ② 虐待の芽チェックリストを5月・11月(年2回)に実施し、結果に合わせて必要な研修等を実施する。
(2) 苦情解決・相談体制の整備 苦情の前段階である希望・要望を汲み取る。	① 意見箱や口頭での相談など、日頃から利用者の要望を共有して適切に対応し、クレームに発展しないようにする。
(3) 事故防止対策 事故苦情委員中心による事故報告内容の共有化及び再発防止策の取組強化	① 引き続き、朝礼時間を使って事故報告内容を迅速に共有して再発防止に取り組む。 ② 転倒事故防止に有効な理学療法士の個別リハビリや施設内リハビリへの、利用者参加増を目指す。

<p>(4)サービスの質の確保</p> <p>① 季節ごとの行事の企画・実行、「食の楽しさ」に向けた取組、クラブ活動の活性化に力を入れる。</p> <p>② 福祉サービス第三者評価受審の結果から、改善が望まれる点のマニュアルの整備等に取り組む。</p>	<p>① 基本的な生活支援はもとより、利用者の生きる活力源となるような余暇活動を企画・実施、新企画も考える。</p> <p>② さらなる利用者サービスの向上を目指し、改善課題となっているマニュアルの整備、点検、見直しを進める。</p>
<p>2 職員への取組</p>	
<p>(1)人材の確保・育成・定着</p> <p>① ホームページの求人情報の更新と施設の魅力が伝わる情報を掲載する</p> <p>② 職員紹介制度や職員資格取得支援制度の周知、制度の活用を推進する。</p>	<p>① 広報委員会で定期的に更新し、求職者が欲しい情報やトピックスを充実させる。</p> <p>② 職員会議等での職員紹介制度の説明や新たな資格取得を奨励、援助に力を入れ働きかけていく。</p>
<p>(2)人材の活用</p> <p>有期職員に雇用契約更新希望について確認し、更新時には面接を行う。</p>	<p>① 人材が不足している曜日や時間帯について、有期職員の面接時に雇用条件の変更(日数や時間を増やす等)の相談を行い、在職者を活用する。</p>
<p>(3)職場環境づくり</p> <p>ストレスチェックの結果から抽出された改善ポイントの技能活用ができる職場環境に向けて働きかける。</p>	<p>① 職員が習得している技能や知識を職場で発揮できる環境を整えるため、職員の得意分野について情報交換ができるような取組を実施し、職員間で理解を深めていく。</p>
<p>3 地域社会への取組</p>	
<p>(1)地域貢献</p> <p>① 社協を通じての事業協力依頼や施設設備の開放や備品の貸し出しなどの要請に応えいく。</p> <p>② 施設利用者が地域社会の住民である意識を持ち、地域貢献に参加できる機会を増やしていく。</p> <p>③ 新型コロナの流行で途絶えた活動や、形や方法が違ってても新たに始められる取組を模索していく。</p>	<p>① 夏休み期間の「お昼ご飯お届け事業」のお弁当調理への協力を継続していく。</p> <p>② 主に利用者が活動しているボランティアクラブ(施設周辺地域の清掃活動)を定期的実施し、新たに富士見町あいさつ運動(小学校校門前でのあいさつ運動)への利用者参加を目指し、各関係機関と調整をしていく。</p> <p>③ 「新たな地域貢献」について、東村山ブロック全体で、共に検討していく。</p>
<p>(2)災害対応</p> <p>実情に即した地域防災を目指し、地域自治体との協力体制の推進を図る。</p>	<p>① 地域応援協定を結んでいる南台自治会と今年度から協定を結ぶ富士見会自治会との合同防災訓練を実施し、大規模災害時における更なる相互応援体制の確立を目指す。</p>
<p>4 経営基盤強化への取組</p>	
<p>(1)収入増への取組</p> <p>① 養護の被措置者単価の引上げと措置数の増加</p> <p>② 昨年度より検討してきた養護契約利用料を4月より引上げる。</p> <p>③ 施設積立金の預入先を検討する。</p>	<p>① 東村山市へ措置費の増額及び措置数の増加に関する要望を働きかけ、引き続き、措置機関との連携強化を図る。(2025年度稼働率:98.5%)</p> <p>② 物価高騰や養護措置費改定に伴い契約利用料を4月より引上げ、契約利用者には丁寧に理解を求める。</p> <p>③ 引き続き、社会福祉法人の許容範囲で利率の高い金融商品等の情報を収集し、見直しをしていく。</p>
<p>(2)コスト削減への取組</p> <p>① ランニングコストの見直しを継続し、電気使用量の削減を目指す。</p> <p>② 施設職員の技術を活用する。</p>	<p>① 電気の使用量を昨年度の使用量より、5,000kwhの削減を目標に節電を働きかける。</p> <p>② 施設職員が修繕できるものは、可能な限り職員が作業することで作業工賃を削減する。</p>
<p>(3)施設設備等物的基盤整備</p> <p>建物の老朽化に伴い建物の検討(建替えや大規模改修)ができる業者を選定する。</p>	<p>① 大規模改修で建物の寿命を延ばすことが可能か、必要な改修内容を把握するため建物診断を受ける。</p> <p>② 養護・軽費老人ホームの今後の在り方について、施設の役割や将来のニーズなどを通して検討していく。</p>
<p>(4)組織・システム</p> <p>NI コラボの活用</p>	<p>① NI コラボのグループウェア機能を活用し、定型的業務の時間削減と文書管理の徹底に取り組む。</p>
<p>(5)災害・感染症対応</p> <p>実践的に見直したBCPを職員全体で共有し、災害発生時に動けるための訓練の実施</p>	<p>① BCPを基に地域住民の受け入れ、災害対策本部設置訓練等を実施する。</p> <p>② 不足物品の選定、購入、保管場所の決定し、職員に周知する。</p>
<p>(6)危機管理</p> <p>IP無線機を使用した訓練の実施</p>	<p>① 災害時に活用できるよう、職員全体に使用方法を周知し、実際に防災訓練等で使用方法の訓練を実施する。</p>
<p>(7)情報セキュリティの強化</p> <p>業種に関わらず、職員全体の意識を高める。</p>	<p>① PC関連だけでなく、書類や個人情報の取り扱いなど、職員全体にセキュリティ研修を行う。</p>
<p>5 持続可能な社会の実現に向けての取組</p>	
<p>全ての職員、全ての利用者が取り組みの意義や目標を知ることから始め、施設生活の中で継続していける身近なことから取り組んでいく。</p>	<p>① SDGsに関する取り組みを意識できるように、ポスター掲示をする等の工夫をしていく。 (目標:7)1. 電気や水が無駄使いない(目標:12)2. 食品ロスをなくす 3. ごみを減らす・分別を徹底する 4. ペーパーレス化に取り組む(目標:11)5. 災害に備える など、具体的に取り組む。</p>

2026年度万寿園予算計画

(1) 万寿園拠点区分当初予算概要

(単位：千円)

	2025年度予算	2026年度予算	増減
事業活動収入 計	283,464	278,552	△4,912
事業活動支出 計	266,905	269,094	2,189
人件費支出	153,383	154,310	927
事業費支出	89,476	89,476	0
事務費支出	23,181	24,428	1,247
事業活動資金収支差額	16,559	9,458	△7,101
施設整備等収入 計	200	0	△200
施設整備等支出 計	5,166	2,660	△2,506
施設整備等資金収支差額	△4,966	△2,660	2,306
その他の活動収入 計	2,159	0	△2,159
積立資産取崩収入	2,159	0	△2,159
拠点区分間繰入金収入	0	0	0
その他の活動支出 計	26,621	6,798	△19,823
積立資産支出	221	398	177
拠点区分間繰入金支出	26,400	6,400	△20,000
その他の活動資金収支差額	△24,462	△6,798	17,664
予備費支出	0	0	0
当期資金収支差額合計	△12,869	0	12,869
前期末支払資金残高	66,473	66,473	0
当期末支払資金残高	53,604	66,473	12,869

年間事業活動支出の

資金繰り可能期間	2.4ヶ月	3.0ヶ月
----------	-------	-------

(2) 当初予算における積算

予算積算入所率	99.16%
人件費率	55.40%

(3) 2026年度の特記事項等

高圧引込ケーブルの絶縁抵抗劣化の可能性があるため、高圧引込ケーブルとPAS交換修繕（約2,366千円 第三万寿園と按分）。

ボイラー関係の不具合により、ヒーターマイコン制御盤交換及び給湯循環ポンプ修繕（約3,316千円 第三万寿園と按分）。

2026年度第三万寿園予算計画

(1) 第三万寿園拠点区分当初予算概要

(単位：千円)

	2025年度予算	2026年度予算	増減
事業活動収入 計	138,680	137,155	△1,525
事業活動支出 計	129,873	134,372	4,499
人件費支出	86,512	90,911	4,399
事業費支出	32,671	31,949	△722
事務費支出	10,327	11,149	822
事業活動資金収支差額	8,807	2,783	△6,024
施設整備等収入 計	0	0	0
施設整備等支出 計	1,691	200	△1,491
施設整備等資金収支差額	△1,691	△200	1,491
その他の活動収入 計	0	0	0
積立資産取崩収入	0	0	0
拠点区分間繰入金収入	0	0	0
その他の活動支出 計	7,116	2,583	△4,533
積立資産支出	4,616	83	△4,533
拠点区分間繰入金支出	2,500	2,500	0
その他の活動資金収支差額	△7,116	△2,583	4,533
予備費支出	0	0	0
当期資金収支差額合計	0	0	0
前期末支払資金残高	20,046	20,046	0
当期末支払資金残高	20,046	20,046	0

年間事業活動支出の

資金繰り可能期間	1.9ヶ月	1.8ヶ月
----------	-------	-------

(2) 当初予算における積算

予算積算入所率	100.00%
人件費率	66.28%

(3) 2026年度の特記事項等

高圧引込ケーブルの絶縁抵抗劣化の可能性があるため、高圧引込ケーブルとPAS交換修繕予定（約2,366千円 万寿園と按分）。

ボイラー関係の不具合により、ヒーターマイコン制御盤交換及び給湯循環ポンプ修繕予定（約3,316千円 万寿園と按分）。